

振り返り

PROBLEM

- チーム内での積極的な情報交換の機会を作ることが出来なかった
- コード品質に関する十分な議論が行えなかった

KEEP

- チームの目標を明確にすることで、チーム内のモチベーションを高く維持できた

TRY

- 案件の大規模化が進む中で、ワークフローの改善を見据えた HTML/CSS 設計手法を検討する
- 流れの早いフロントエンド技術をしっかりと押さえつつ、再利用性の高い技術やナレッジも合わせて蓄積していく

2018年度セクション目標

情報共有の活性化

- セクション内技術プレゼンの定期的な実施（月 1 回想定・繁忙期の 12 月、3 月は除く）
- ライトニングトークイベントの継続開催（月 1 回想定・繁忙期の 12 月、3 月は除く）
- 各種勉強会の実施

MVC フレームワークを活用したウェブアプリケーション開発スキルの向上

- Vue.js の学習と案件への導入
- API 連携による SPA 開発ノウハウの蓄積

インタラクションスキルの向上

- マイクロインタラクションを中心とした演出力の強化
- 動きのあるサイトやビジュアルの設計、構築ノウハウの蓄積

コード品質の向上

- アクセシビリティ、パフォーマンス、セキュリティを軸としたコード品質指針の定義
- 案件の大規模化に備えたコンポーネント設計指針の学習
 - Sketch と連携した Atomic Design の導入など

CMS 構築体制の安定化

- Movable Type、WordPress の構築スキルを持ったスタッフの育成

チーム目標

- セクション内技術プレゼンの実施（月 1 回想定・繁忙期の 12 月、3 月は除く）
- ライトニングトークイベントの継続開催を促す（月 1 回想定・繁忙期の 12 月、3 月は除く）
- コード品質指針を策定する
- アクセシビリティに関する勉強会を開催する
- セクション内向けのアクセシビリティ情報をまとめる